

後藤 紫織 (ヴァイオリン)

GOTO Shiori, Violin



埼玉県越谷市出身。武蔵野音楽大学演奏学科ヴィルトウオーゾコース3年。

これまでに山森陽子、曾我部陽子、丸山由里子、丹羽道子の各氏に師事。

黒沼ユリ子氏、アドリアン＝ユストウス氏、ロバート・ダヴィドヴィチ氏、アガタ・シムチェフスカ氏のマスタークラスを受講。

第16・17回草加市演奏家協会クラシック音楽ジュニアコンクールD部門、E部門第2位。第19回日本管弦打楽器ソロコンテスト金賞及び東邦音楽大学学長賞受賞。第44回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール高校生の部第5位。第19回ベートーベン音楽コンクール自由曲コース弦楽器部門大学・院生Aの部第4位。

中学1年時に全日本高等学校オーケストラ連盟主催選抜オーストリア公演に参加し、ウィーン楽友協会にて演奏。

大宮光陵高等学校卒業時に初のソロ・リサイタルを開催。高校・大学においてオーケストラのコンサートマスターを3年務める。

武蔵野音楽大学ニュー・ストリーム・コンサート57に出演、58に出演決定。

学業の傍ら、ソロリサイタル、室内楽、オーケストラ等で演奏会に多数出演。

海外音楽大学マスタークラス派遣助成オーディションにて受講費全額免除を得てウィーン国立音楽大学春期ウィーンナーム・ジークセミナーを受講し、ディプロマ取得。

令和6～8年度福井直秋記念奨学金受給生。

令和7年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。

大市 泰範 (音楽監督・常任指揮者)

OICHI Yasunori, Conductor



三重県出身。東京理科大学を経て、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)を卒業。

これまでに広上淳一、汐澤安彦、田代俊文、野口芳久、橋本久喜の各氏に指揮法を、声楽を小林彰英氏、ピアノを和田仁氏に師事。2017年にはチェコ共和国でのマスタークラスに参加し、ボフスラフ・マルティヌー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮するなど、海外でも研鑽を積む。

現在、アリエッタ交響楽団の音楽監督・常任指揮者として、緻密で柔軟な音楽づくりに定評がある。特に協奏曲の演奏に積極的で、多彩なソリストとの共演を通じて、音楽の対話性と広がり追求している。

また、江戸川フィルハーモニーオーケストラとのファミリーコンサートでは、親しみやすいトークと丁寧な音楽表現が高く評価され、世代を問わず好評を博している。クラシック音楽をより身近に感じられる場を提供することにも力を注いでいる。

地域のアマチュアオーケストラへの客演や指導も数多く手がけており、演奏者一人ひとりの個性を活かした音楽づくりに取り組んでいる。

高宮城 凌 (ゲストコンサートマスター)

TAKAMIYAGI Ryo, Guest Concertmaster



4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業。

第56、60回全日本学生音楽コンクール福岡大会 第1位。

第14回日本クラシック音楽コンクール全国大会 第3位。

いしかわミュージックアカデミー2008にてIMA音楽賞を受賞。

第15回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディションにてグランプリを受賞。

桐朋学園大学Student's Concert、室内楽演奏会、卒業演奏会に出演。

プロジェクトQ第10章に参加。第12回東京音楽コンクール入選。

これまでに、マルメ交響楽団、琉球交響楽団、群馬交響楽団と共演。

ヴァイオリンを高宮城徹夫、屋比久潤、原田幸一郎、神谷美千子の各氏に師事。

室内楽を原田幸一郎、毛利伯郎、徳永二男、堤剛、山崎伸子、磯村和英、池田菊衛、クアルテット・エクセルシオの各氏に師事。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に在籍。

日本各地のプロオーケストラに首席奏者として客演。

アクセス

電車：東武東上線・東京メトロ有楽町線／副都心線

「和光市駅」南口から徒歩13分

バス：和光市駅南口から東武バス 西大和団地経由 司法研修所循環 乗車

「和光市役所入口」(和光市駅南口から3つ目)下車 徒歩1分

〒351-0192 埼玉県和光市広沢1-5

駐車場(有料)に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。



団員募集

弦楽器各パート若干名。

月2～4回土曜日の夜間または午後、板橋区や和光市で練習しています。

詳しくはお問い合わせ下さい。

